

令和7年度 第2学期開始式 講話

本年は早くから酷暑の日々が続いているところですが、本日第2学期の開始式を迎えました。夏季休業中についても、それぞれが目標を掲げ、その達成に向けて日々努力を重ねたことと察します。学校全体としては、皆さんの力を結集し、中学生及び保護者の方々等を迎えてオープンスクールを催すことができました。また、新上五島町の魅力や課題について探究する取組を進めたグループのほか、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に向けて自分のプレイスタイルを突き詰めたり、地域の催しに積極的に関わって自身の在り方について深めた人も見られました。

一方、世界や国内においては、この1か月ほどの休業期間中に様々な変化や出来事が生じました。その中でも、気象状況の急激な変化に伴う災害発生リスクに対して理解を深め、普段から自身や家族を守るための備えを施していくことを再認識していることと存じます。併せて、3年生については、近いうちに進路実現に向けての準備や選考の時期を迎えますので、全校をあげて熱中症はもとより感染症や怪我等にも気を配っていくことが欠かせないということを付け加えます。

さて、この第2学期に創立60周年記念式典をはじめとする様々な記念行事を執り行う節目の時節を迎えることから、皆さんにはこれまで以上に本校の生徒としての自覚を更に高めていくことが求められます。こうした中で、心に留めておきたいことは、校訓として示されている「誠実、自律、創造」に加え、中国春秋時代の思想家である老子が唱えた「上善は水の如し」という言葉です。この言葉を紐解くと、第一に、水は万物に利益を与えながらも、四角の器に入れれば四角の形になれ、丸い器に入れれば丸い形になれる、極めて柔軟な在り方を持つものであること、第二に、水は自分の存在を主張しないで、低い方へ自然に流れていくものであること、第三に、水は大きなエネルギーを秘めており、急流ともなれば、固い岩石をも打ち砕いてしまうものであること、こうしたことから、水の持つ特徴を身に付けることができれば、上善すなわち理想の生き方に近付くことができるということを示唆しています。

第1学期には、生徒会が「令和7年度 中高いじめま宣言」を取りまとめ、その中に「一人一人を尊重し、みんなが過ごしやすい環境づくりをします」という一文を掲げ、状況に即した言動を心掛けていこうとする姿勢が共有されました。本学期では、一人一人が水のようなしなやかさに加え、様々な場面で必要な力や能力を養い、問題を乗り越えるエネルギーを蓄え、力を発揮する日々を送ることを期待します。